

# R5年度からのデジタルデバイス対策 「まえばしデジタルサポーター」の発足

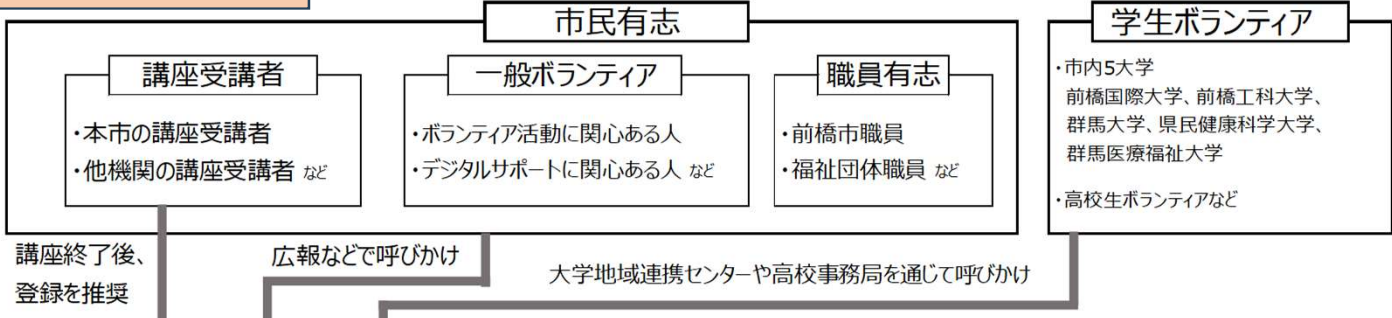
## 現状のデジタルデバイス対策の課題

- ・現状実施している業務委託によるスマホ講座は事業経費がかさみ、受講人数も限られる。
- ・スマホ講座の受講には時間と場所の制約があるため、デジタルに関する相談を気軽にできる場所がない。

## R5年度以降のデジタルデバイス対策

- ・事業者と協力のうえ、デジタルサポーター（有償ボランティア）を養成・登録・派遣するスキームを構築する。
- ①地域団体の要請に基づくサポーター派遣 と ②市内数カ所に設ける「デジタルよろず相談所」へのサポーター派遣の2事業を展開し、身近な場所でデジタルに関する困りごとの相談ができる環境づくりを目指す。

実施体制イメージ図

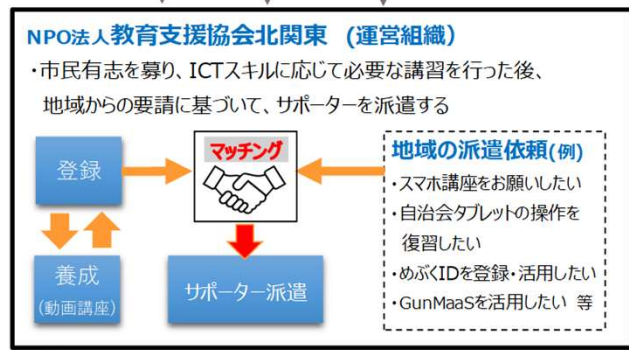


## デジタルサポーターの主な活動

地域住民3人以上で行う学習会に、サポーターを無料派遣する「①講習会サポート」と定時×定点で相談拠点を設置し、市民の小さな困りごとを解消する「②デジタルよろず相談所」の2事業を中心に、事業展開する予定です。



地域のスマホ講座 自治会タブレット支援 デジタルよろず相談所  
 ①講習会サポート ②よろず相談所



## R5年度事業費

デジサポ事業運営委託 9,999千円

※デジ田交付金（地方創生）をR5年度～R9年度までの5年間、活用する予定  
 ※国交付金1/2補助+特別交付税（補助ウラ×4割）より市負担は全体事業費の3割程度の見込み

## スケジュール（予定）

- ①定例記者会見 《7月28日》  
・サポーター募集の開始について発表
- ②サポーター募集開始 《8月1日～》  
・本市広報誌・HP等で周知開始
- ③サポーター養成（動画講習） 《8月中旬～》  
・サポーター登録者への動画講習
- ④サポーター派遣開始及びデジタルよろず相談所開設 《10月～》  
・地域からの要請受付及びマッチング開始
- ⑤フォローアップ・登録勸奨の継続 《10月～》  
・サポーターへのフォローアップ講習等

# 【参考】デジタルデバイド解消に向けたこれまでの取組

## スマホ講座

民間委託による地域でのスマートフォン講座



<民生委員向け講座>



<介護予防サポーター向け講座>

## デジタルよろず相談所

昨年11月前橋工科大学の学生による実証事業を実施



<下川淵公民館>

## 自治会タブレット

地域の共助で進めるデジタルデバイド対策



<ワクチン接種予約サポート>



<タブレット操作講習会>